

徳島大学大学院総合科学教育部博士前期課程学位論文審査基準
地域科学専攻・臨床心理学専攻

修士の学位論文は、次に掲げる点を総合的に考慮し、かつ、審査対象者が学位申請を行った分野の研究者として研究活動を行い、又はその他専門的な業務に従事するために必要な倫理観、技術力、研究能力及びその基礎となる学識を有していると認められる場合に合格とする。

1 研究の動機、および意義

研究テーマ及び問題設定に学術的及び社会的意義があると認められること。

2 他の諸研究の状況及び本研究との関連

先行研究と関連づけつつ、研究テーマ及び問題設定に対して適切な研究方法を実践していること。

3 本研究における独自性・独創性

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。

4 本研究の成果とその評価について

当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。

5 今後の発展性

専門的な業務に従事するために必要な倫理観、技術力、研究能力及びその基礎となる学識を有すると認められ、社会的活動が期待できること。

徳島大学大学院総合科学教育部博士後期課程学位論文審査基準
地域科学専攻

博士の学位論文は、次に掲げる点を総合的に考慮し、かつ、審査対象者が学位申請を行った分野の研究者として自立して研究活動を行い、又はその他高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有していると認められる場合に合格とする。

1 研究テーマ・問題設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に独創性や新規性があり、学術的及び社会的意義があると認められること。

2 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定に対してふさわしい研究方法を実践していること

3 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的且つ明確に導き出されていること

4 独創性・オリジナリティ

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に注目すべき独創性が認められること

5 社会又は学会等への貢献

社会への貢献が期待され、又は当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること

6 総合力

高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の倫理観、技術力、研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有すると認められ、研究者として自立して研究活動を行うことができること

徳島大学大学院総合科学教育部博士後期課程 学位論文提出基準

課程博士	論文博士
<p>(参考論文)</p> <p>① 申請者によって執筆され、学位論文の主要な内容が記述された公刊論文又は公刊されることが証明された論文原稿。</p> <p>② 原則として、学位申請者が主として寄与した研究成果を申請者自身が執筆し、権威ある学術雑誌に投稿して査読の結果、掲載が認められた主論文もしくは著書（分担執筆を含む）が1報以上必要。</p> <p>③ 公刊論文として、さらに数編程度の副論文があることが望ましい。</p> <p>④ 主論文が共著論文の場合には、その論文の成果が主として学位申請者が寄与したものであり、主要部分が申請者によって執筆されたものであることを、すべての共著者が署名捺印の上証明する承諾書の提出が必要。なお、指導教員が論文提出について共著者の承諾を得ている場合は、承諾確認書をもってこれに代えることができる。</p> <p>(主論文)</p> <p>⑤ 主論文は、学位申請者の単著又は筆頭著者であることが望ましいが、特別な事情によってそうでない場合には、承諾書（その論文の成果が主として学位申請者が寄与したものであり、主要部分が申請者によって執筆されたものであることを、すべての共著者が署名捺印の上証明する書類）又は承諾確認書（指導教員が論文提出について共著者の承諾を得ていることを証明する書類）を提出させるとともに、審査委員はその事情を教育部教授会で説明するものとする。</p> <p>(副論文)</p> <p>⑥ 副論文とは、学位申請者が参加した研究の成果を執筆した同種の公刊論文をいう（単著又は筆頭著者であることを問わない）。申請</p>	<p>(論文提出による参考論文)</p> <p>① 申請者によって執筆され、学位論文の主要な内容が記述された公刊論文又は公刊されることが証明された論文原稿。</p> <p>② 原則として、学位申請者が主として寄与した研究成果を申請者自身が執筆し、権威ある学術雑誌に投稿して査読の結果、掲載が認められた主論文もしくは著書（分担執筆を含む）が3報以上必要。</p> <p>③ 公刊論文として、さらに数編程度の副論文があることが望ましい。</p> <p>④ 主論文が共著論文の場合には、その論文の成果が主として学位申請者が寄与したものであり、主要部分が申請者によって執筆されたものであることを、すべての共著者が署名捺印の上証明する承諾書が必要。</p> <p>(論文提出による主論文及び副論文)</p> <p>⑤ 課程博士の規定を準用。</p>

者が筆頭著者として執筆し、著者自身が発表した国際会議論文なども含む。

⑦ ※権威ある学術雑誌は、以下のいずれかに該当するものとする。

- 1、トムソンロイターの引用文献データベースに記載された学術雑誌
- 2、日本学術会議協力学術研究団体の学会誌

⑧ 論文内容要旨 和文 1,000～1,500 字

⑥ 論文内容要旨 和文 1,000～1,500 字